

右御入目銀百貫三百三拾五匁壹分、米五拾七石六斗三升七合、

右は計府の古帳にみえたり

〔京都御役所向大概覺書〕五洛中洛外公儀。橋間數并御修復之事

一三條大橋幅五間五尺五寸長五拾七間四尺五寸

右寶永八卯年、朝鮮人來聘ニ付御修復、

右御入用銀拾四貫七百七拾六匁八分四厘

御修復奉行 平岡彦兵衛

角倉與一

一三條小橋幅三間三尺九寸長四間五尺五寸

右寶永八卯年、朝鮮人來聘ニ付御修復、

右御入用銀九百七拾四匁四分

御修復奉行 平岡彦兵衛

角倉與一

〔雍州府志八
古蹟〕三條橋

在三條東賀茂川上、斯橋同五條橋、每朽廢。自公方家令改造成之、俗稱公儀橋。倭俗公事謂公儀。凡自東北入京師者必經斯橋。是謂三條大橋在斯西者、謂小橋、伏見往來之舡船、自此小橋下過。

〔京都御役所向大概覺書〕四御老中御證文之事

江州勢多大橋小橋御修復諸色御入用銀高目錄帳

都合銀貳百七拾九貫六百九拾目五分六厘

内